

令和6（2024）年度

地域学校協働活動推進員養成研修① 実施報告

実施日：令和6(2024)年6月21日(金)

本研修では、学校と地域の連携・協働活動の在り方について理解し、学校と地域のコーディネートに必要な知識や技術の習得をねらいとして、地域学校協働活動推進員としての資質向上を目指します。全5回の内容で実施されます。

1回目の今回は、参加者約40名が集まり、開講式および今後の礎となる講話が実施されました。



開講式の様子

講話「学校と地域の連携・協働がつくる未来」

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター 社会教育調査官 白井 淳子 氏

学校と地域の連携・協働、特に地域学校協働活動に関する基本的な内容を押さえた上で、学校と地域の連携・協働を推進していく意義について共有しました。そして、協働のあるべき姿について確認し、「学校と地域が目指す子ども像、目標を共有すること」「学校の現状を理解し、先生方との関係づくりを進めること」「活動内容を考えるときは、子供たちに身に付けさせたい力は何か、そのために子供たちに何をさせるのかを考えること」「目指す子ども像や目標と照らし合わせ、活動を見直していくこと」等、地域学校協働活動推進員として活動を進めていく上でのポイントを確認しました。

また、取組事例についての紹介がありました。事例についての白井氏の視点からの解説があり、今後学校と地域の連携・協働を推進していく際のヒントがたくさんありました。それらは、受講者の今後の活動の道標となりました。そして、子どもの成長を支える大人同士の横のつながりを深めることなどコーディネーターの存在とその役割の重要性についておさえました。

最後に、白井氏から受講者に「笑顔で、楽しく、子どもたちのためにできることを考え、活動してみませんか？」という言葉が贈られました。白井氏のエネルギッシュなお話は、受講者が学校と地域の連携・協働に取り組む大きな力となりました。



【受講者の感想から】

- コーディネーターの役割、協働の理解が深まりました。
- 行事のあり方や運営方法を少しずつ変えていければと思います。
- 学校の支援もしつつ、地域の方々とつながり、子どもたちが「楽しい」「やってよかった」と笑顔になってくれる活動につなげていきたいと思います。
- 支援から協働へと少しずつステップアップしていきたいと考えています。
- 一人ではなく、一緒に考えていける人との関係を作っていければと思います。



研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp